

☆” ----- STOP 温暖化 ★

埼玉県温暖化対策メールマガジン

第 128 号 2022.9.1

発行：埼玉県 温暖化対策課

★ ----- <http://www.pref.saitama.lg.jp/a0502/ontai-merumaga.html> ☆”

埼玉県の温暖化対策に関する情報をご紹介させていただくために、「埼玉県温暖化対策メールマガジン」を発行しています。メールマガジンをご愛読いただくために、できるだけ皆様のご意見を反映させていきたいと考えていますので、掲載を希望する情報や掲載内容にお気づきの点がございましたら、お知らせくださるようお願いいたします。

—★—

目次

—————☆—

コラム

埼玉県地球温暖化防止活動推進員 安部義男さん

お知らせ

- (1) 夏季における節電の御協力について
- (2) 電力ひっ迫に係る 1 都 8 県共同メッセージについて（省エネ・節電のお願い）
- (3) エコライフ DAY・WEEK 埼玉 2022（夏）にチャレンジ（9 月 30 日まで）
- (4) 家庭の省エネ相談会のご案内（1 月 31 日まで）
- (5) 埼玉県環境みらい資金融資
- (6) 県のご自宅向け省エネ・再エネ設備補助事業について
- (7) 環境講座の開催について
～身近な自然環境について学んでみよう！～

—★—

コラム



地球温暖化防止活動推進員になった4月以降、家庭内のエネルギー管理と省エネへの関心がますます高くなってきました。

最近では節電エコチェッカー、電力量やガス量積算計の数値に注目し、省エネにつながる使用方法を模索、工夫しています。たとえば、浴槽に給湯する場合、自動給湯と常温水を溜めてから追い焚きをする方法がありますが、両者を比較すると前者に対して後者は必要な都市ガス量が13%低減することができ、結果的に排出するCO₂量は0.09kg-CO₂/回(約450/回)、ガス代は9円/回それぞれ削減できることがわかりました。省エネの効果を把握するためには、エネルギー使用量を記録することが必要です。まずは月毎のエネルギー使用量を記録することから始めてみましょう。

埼玉県地球温暖化防止活動推進員 安部義男



お知らせ



(1) 夏季における節電への御協力について

夏季は気温の上昇により電力需要が増加しますが、3月に発生した福島県沖地震による発電所の稼働停止などにより、東京エリアにおいて電力の需給が非常に厳しくなる見通しです。

皆様におかれましても既に様々な省エネに取り組んでいただいていることと存じますが、9月30日(金)まで終日、無理のない範囲で、節電への御協力をお願いいたします。

特に、太陽光発電の発電量が下がる夕方の時間帯は、熱中症にならないよう冷房等を活用いただきながら、使っていない照明を消すなど、無理のない範囲でできる限りの節電をお願いします。

具体的な節電方法については下記の資源エネルギー庁のホームページを御参照ください。

資源エネルギー庁

https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/shoene_setsuden/

(2) 電力ひっ迫に係る 1 都 8 県共同メッセージについて (省エネ・節電のお願い)

7月7日(木)に1都8県(茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、静岡県)でテレビ会議が開催され、共同メッセージを発信しました。

9月30日までの期間について、必要な電力量が電力供給量を上回る「電力不足」が私たちの生活を直撃するおそれがあります。

この時期を乗り越え、私たちの生活を守るため、熱中症には十分気を付けつつ、ご家庭やオフィスにおける無理のない範囲での省エネ・節電の取組みにご協力をお願いします。

↓詳しくは県ホームページをご覧ください

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0502/ittohakken.html>

(3) エコライフDAY・WEEK埼玉 2022 (夏) にチャレンジ

(9月30日まで)

エコライフDAYは、簡単なチェックシートを利用して1日省エネ生活を体験していただくもので、節電や省エネの取組による二酸化炭素削減量や節約金額を実感できます。

「室温 28℃を目安に冷房を適切に使用した」、「お風呂は冷めないうちに、みんなで続けて入った」など、取り組んだ項目に「✓」をつけるだけです。

ぜひゲーム感覚でチャレンジしてみてください。

また今年度から、従来のエコライフDAYに加えて、一週間継続してエコライフに取り組むエコライフWEEKも実施し、省エネの取組の更なる定着を目指します。

○実施期間 令和4年6月1日～令和4年9月30日

↓詳しくは県ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0502/ecolifeday.html>

(4) 家庭の省エネ相談会のご案内（1月31日まで）

埼玉県では、ご家庭のエネルギーの節約、省エネを応援するため、各家庭の状況に合わせて省エネのアドバイスを行う「家庭の省エネ相談会」を実施しています。省エネのアドバイスは、事前調査票をもとに省エネ相談員が書面やデータで行います。

また、希望される方は、オンラインで省エネ相談員に直接相談することもできます。

さらに今年度は、県内のイベントやショッピングモール等での対面による相談会を実施します。相談は無料（※）です。

今、光熱費が高騰しています。省エネの取組は、家計に優しいばかりでなく、地球温暖化の原因のひとつである二酸化炭素の排出削減にも繋がることが期待されます。

ぜひこの時期に家庭の省エネについてご相談してみてもはいかがでしょうか。

○実施期間 令和4年6月～令和5年1月31日（予定）

※ただし、相談全般にかかる郵送料及び通信費、交通費は申込者様のご負担となります。

↓詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.kannet-sai.org/center/sai-ccca/syoene-soudan2022.html>

(5) 埼玉県環境みらい資金融資

民間事業者が温室効果ガス排出量の削減対策等に取り組むために必要な設備資金等について、低利かつ長期固定による金融機関からの資金調達を支援する制度です。

○申請期間 随時受付

↓詳しくは県ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0502/miraisikin.html>

(6) 県のご自宅向け省エネ・再エネ設備補助事業について

【補助制度のご案内】

ご自宅への省エネ・再エネ設備（エネファーム・太陽熱利用システム・地中熱利用システム・蓄電システム・V2H・高断熱窓）の設置を補助します！

県は、家庭部門の脱炭素化を促進するため、自らが居住する既存住宅等に新たにエネファーム、太陽熱利用システム、地中熱利用システム、蓄電システム、V2H、高断熱窓を設置する方に、予算の範囲内において補助金を交付します。

☆補助制度の概要☆

【対象設備】 エネファーム、太陽熱利用システム、地中熱利用システム
蓄電システム、V2H、高断熱窓

【補助金額】 ①エネファーム、太陽熱利用システム、蓄電システム、V2H
一設備につき10万円

②地中熱利用システム
一設備につき40万円

③高断熱窓
補助対象経費の1/5（上限10万円）

【予算額】 3億7,760万円

↓詳しくは県ホームページをご覧ください

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0503/hojyokin2.html>

受付期間は令和5年2月28日（火）までです。申請多数により予算額の範囲を超えた場合は受付を終了することがありますのでご注意ください！

(7) 環境講座の開催について

～身近な自然環境について学んでみよう！～

埼玉県環境アドバイザーが9月19日（月・祝）に環境科学国際センター（加須市上種足914）の研修室で環境講座を行います。どうぞご参加ください。

講座① 「大切な『水』を調べてみよう」

日時 : 令和4年9月19日(月・祝) 10時～11時15分

対象 : 小中学生(小学生は保護者同伴)

内容 : 水の働きや自然界における大循環や、生活の中で水が汚れていく流れを見ます。

川の水、水道水、市販飲料水の水質検査を実際に行います。

講座② 「自然とは何だろう？」

日時 : 令和4年9月19日(月・祝) 13時30分～14時45分

対象 : 小学3年生以上(小学生は保護者同伴)

内容 : 生き物を題材に、自然に対する見方や考え方が身につく基礎講座です。

大人から子どもまで一緒にどうぞ。

持ち物 : 工作用はさみ

申込期限 : 9月6日(火)

問合せ先 : 埼玉県環境部環境政策課 TEL048-830-3019

申込及び詳細はこちら(両方への申し込みも可能です。)

講座①

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0501/kankyogakusyu/kankyoadvisertokubetu/kouza.html>

講座②

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0501/kankyogakusyu/kankyoadvisertokubetu/kouza0919.html>

☆

埼玉県温暖化対策メールマガジン

発行システム : 『まぐまぐ!』 <http://www.mag2.com/>

配信中止はこちら <http://www.mag2.com/m/0001206330.html>

★
